

平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月10日

上場会社名 ミヤコ株式会社
 コード番号 3424 URL <http://www.miyako-inc.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末田 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松田 博幸

TEL 06-6352-6931

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,231	2.8	70	4.1	75	10.5	51	11.3
30年3月期第1四半期	1,198	5.5	73	28.4	84	34.2	57	37.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	18.65	
30年3月期第1四半期	21.03	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	5,104	3,685	72.2	1,344.83
30年3月期	5,256	3,686	70.1	1,345.21

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 3,685百万円 30年3月期 3,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		10.00		15.00	25.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		10.00		15.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,513	4.8	152	2.9	165	2.8	140	21.0	51.16
通期	5,400	3.6	430	2.9	450	2.8	308	21.1	112.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益の予想数値は、当第1四半期会計期間末の発行済株式数(自己株式控除後)が当事業年度末まで同数であると仮定して算出しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	4,587,836 株	30年3月期	4,587,836 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	1,847,408 株	30年3月期	1,847,408 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	2,740,428 株	30年3月期1Q	2,740,428 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における事業環境は、住宅取得優遇制度や住宅ローンの低金利政策が継続的に実施されているものの、新設住宅着工は全体的に緩やかな減少傾向が続いております。

一方、企業収益は回復傾向にあり非住宅市場は増加傾向にあります。しかしながら同業企業間での価格競争やサービス競争が激しさを増しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社ではブランド力を大いに発揮し飛躍させるべく、販売力の強化、アイデア商品の開発、ニッチ商品の品揃えの充実などに取り組み、全社をあげて業績向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は12億3千1百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。利益面では、営業利益は7千万円(前年同四半期比4.1%減)、経常利益は7千5百万円(前年同四半期比10.5%減)となり、四半期純利益は5千1百万円(前年同四半期比11.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産の残高は、前事業年度末に比べて1億3千9百万円減少し、42億1百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が1億4千5百万円減少したことによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べて1千3百万円減少し、9億2百万円となりました。

これは主に、投資有価証券の時価が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1億5千2百万円減少し、51億4百万円となりました。

(負債)

流動負債の残高は、前事業年度末に比べて1億5千2百万円減少し、13億2千7百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が1億1百万円減少したことや未払法人税等が8千万円減少したことによるものであります。

固定負債の残高は、前事業年度末とほぼ同水準の9千1百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億5千1百万円減少し、14億1千8百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末とほぼ同水準の36億8千5百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において平成30年5月11日付「平成30年3月期 決算短信[日本基準] (非連結)」にて公表いたしました業績予想数値に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,631,941	1,665,012
受取手形及び売掛金	1,499,685	1,354,328
電子記録債権	396,431	395,142
商品及び製品	786,076	771,389
貯蔵品	3,954	1,385
その他	23,278	14,527
貸倒引当金	△600	△200
流動資産合計	4,340,768	4,201,587
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	42,666	41,874
土地	273,897	273,897
その他(純額)	16,941	14,870
有形固定資産合計	333,506	330,643
無形固定資産	10,562	9,842
投資その他の資産		
投資有価証券	301,617	285,720
繰延税金資産	68,419	73,280
その他	202,341	203,623
貸倒引当金	△464	△464
投資その他の資産合計	571,913	562,160
固定資産合計	915,982	902,646
資産合計	5,256,751	5,104,233

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	462,354	360,406
電子記録債務	578,267	604,899
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	109,648	28,917
賞与引当金	42,000	21,000
その他	87,637	111,783
流動負債合計	1,479,908	1,327,006
固定負債		
役員退職慰労引当金	84,733	86,141
その他	5,670	5,670
固定負債合計	90,403	91,811
負債合計	1,570,311	1,418,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,952	564,952
資本剰余金	119,774	119,774
利益剰余金	4,973,767	4,983,779
自己株式	△2,104,783	△2,104,783
株主資本合計	3,553,709	3,563,721
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	132,729	121,693
評価・換算差額等合計	132,729	121,693
純資産合計	3,686,439	3,685,415
負債純資産合計	5,256,751	5,104,233

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,198,036	1,231,231
売上原価	829,692	863,836
売上総利益	368,343	367,395
販売費及び一般管理費	295,228	297,295
営業利益	73,115	70,099
営業外収益		
受取配当金	3,892	4,345
仕入割引	5,508	5,738
受取保険金	6,029	-
その他	1,209	1,050
営業外収益合計	16,639	11,134
営業外費用		
支払利息	129	133
売上割引	4,970	5,381
その他	36	-
営業外費用合計	5,136	5,515
経常利益	84,619	75,718
税引前四半期純利益	84,619	75,718
法人税等	27,000	24,600
四半期純利益	57,619	51,118

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。